



東北芸術工科大学

東北芸術工科大学（とうほくげいじゅつこうかだいがく、英語: Tohoku University of Art & Design、公用語表記: 東北芸術工科大学）は、山形県山形市上桜田 3-4-5 に本部を置く日本の私立大学である。1991 年に設置された。大学の略称は芸工大または TUAD。

概要

東北芸術工科大学は、山形県と山形市が各 100 億円ずつを支出して設置し、学校法人東北芸術工科大学が運営する日本初[1]の公設民営方式の私立大学である（開校当初は、理事長は現職山形県知事、大学職員も自治体からの出向が多くを占めていた）。

近年は宮城県仙台市から高速バスを用いて通学する者が多い傾向にある。2016 年度新入生の出身都道府県は、宮城県が最多（173 人）となり、地元山形県の 167 人を上回った。

大学の理念

東北芸術工科大学の大学名は、単に東北地方に立地する芸術・デザイン系の大学であることを意味するだけではありません。本学は、「東北芸術工科大学設立の宣言」に掲げる高い理想と大きな

志を持って、この困難を極める時代に誕生しました。日本文化の源流ともいえる東北の地にしっかりと軸足を置き、芸術とデザインの力で、現代社会の抱える様々な課題を解決できる人材の育成を、その使命としてとらえています。

戦争やテロによる殺戮、世界中に存在する貧困と飢餓、地球規模の環境破壊、子どもを取り巻く教育問題……。経済効率のみを優先し、あるいは科学技術を盲信し、物質的な発展と人間性の喪失を繰り返してきた 20 世紀文明への深い反省に立って、人々が安心して暮らせる平和で豊かな社会を作るために大学が果たすべき役割は何なのかを、常に考えながら実験を重ね行動する「運動体」—それが、東北芸術工科大学です。

本学が設立された東北の地には、縄文時代から 1 万年を超える長きにわたり、日本古来の精神・文化が脈々と受け継がれています。そこには渡来文化の影響を受け、生産性の合理化・効率化に支えられた弥生以前の、純然たる日本人としてのルーツ・源流を見ることができます。

東北に今も色濃く残るこの豊かな歴史観と自然環境は、病んだ現代社会が負った矛盾や問題を解く手がかりとなるはずです。それは言い換えれば、経済原理に基づいた西洋的な思想から、精神世界を重んじる日本古来の東洋的な思想への転換であり、ここから芸術・デザインが果たすべき役割を、社会に、世界に問い続けていこうとするものです。

本学が掲げる「東北ルネサンス」というスローガンは、地域社会と共生しながら、地域の歴史や文化に育まれた精神と叡知を理解し、新しい世界観の創生へと結集させて次世代に手渡す、その決意でもあります。

国際化が進み共生が叫ばれる現代においてこそ、見直されるべき日本人のアイデンティティーを探る手がかりが、地域性の中に秘められていると考えています。

これら本学の理念や思想は、「人類の良心による芸術と工学の運用によって、社会に貢献する人材を輩出する」という教育目的に引き継がれ、芸術とデザイン工学の二学部の教育プログラムや研究活動へと展開されています。

本学の建学理念は、『東北芸術工科大学生い立ちの記』および『21 世紀に向けて東北芸術工科大学の誓い』の二冊の小冊子で明確に語られています。

「なぜ東北の地・山形に東北芸術工科大学が設立されたのか」、そして「この大学が、今の時代に何を成さなければならないのか」。

新たな世紀の初頭に生き、これから大学へ進学しようとする若者たちにとって、この二冊は「今、自分がやるべきこと」を真剣に考え、「この大学で学ぶことの意味」を知るための手がかりとなるはずです。

沿革

年表

1991 年	学校法人東北芸術工科大学設立
1992 年	東北芸術工科大学開学。芸術学部・デザイン工学部設置
1994 年	全国高等学校デザイン選手権大会第 1 回大会開催。以降、毎年開催。
1996 年	大学院開学。芸術工学研究科（修士課程）設置
1997 年	総合研究センター設立
1999 年	東北文化研究センター設立
2001 年	文化財保存修復研究センター設立。東京サテライトキャンパス設置。学都仙台単位互換ネットワークに参加
2003 年	東アジア民族文化アーカイブ研究センター設立。韓国事務所開設
2004 年	こども芸術教育研究センター設立。卒業生支援センター開設
2005 年	大学院芸術工学研究科博士後期課程設置。大学院仙台スクール開設。こども芸術大学開学。デザイン哲学研究所設立。仙台事務所開設
2006 年	デザイン工学部生産デザイン学科をプロダクトデザイン学科、環境デザイン学科を建築・環境デザイン学科へそれぞれ名称変更。東アジア芸術文化研究所設立。文化財保存修復研究センター センター棟竣工
2007 年	社会芸術総合研究所設立
2009 年	デザイン工学部にグラフィックデザイン学科、映像学科、企画構想学科を開設。美術館大学センター設立。教養教育センター設立。
2010 年	外苑キャンパスを開設
2011 年	芸術学部文芸学科を開設。山形県が売却した知事公舎を、改修し「やまがた芸術学舎」を開設。また、学園長ポストを新設し、初代学園長に細川護熙が就任。6 月に、学校法人東北芸術工科大学が、京都造形芸術大学を経営する学校法人瓜生山学園と 2012 年 4 月に「学校法人芸術学舎」という一つの法人になる統合を目指していることが明らかになった。しかし、7 月、地元のフリーペーパー「やまがたコミュニティ新聞」が、統合を疑問視する特集を掲載。その後、元教授などで構成された統合に反対する「東北芸術工科大学を愛する会」が正式に発足した。8 月に開会された県議会総務常任委員会で統合問題が取り上げられた他、衆議院文部科学委員会でも自民党の遠藤利明議員が「県議会の同意がないと認可すべきじゃない」などと発言。10 月に県民を対象とした説明会が開催され、山形県と山形市は 2 回、統合計画の不備を指摘する要望書を提出。大学側はその都度、回答書の形で改善案を示すものの、12 月には、山形県と山形市が「計画は拙速」と

最終見解を示した。それを受け、学校法人東北芸術工科大学は理事会を開催し対応を審議。審議の結果、2012 年 4 月の法人統合は見合わせ、文部科学省に提出していた認可申請を取り下げるとともに、当面法人統合の再申請を行わないことを決定したと発表するに至った。

2012 年 副学長ポストを 1 から 2 へ増やすことを発表。文明哲学研究所を開設

2013 年 創造性開発研究センターを設立

学部

芸術学部

美術史・文化財保存修復学科（絵画修復、立体作品修復、保存科学、美術史）

歴史遺産学科（歴史、考古、民俗・人類）

美術科

日本画コース

洋画コース

版画コース

彫刻コース

工芸コース（陶芸、金工、漆芸）

総合美術コース

文芸学科

デザイン工学部

プロダクトデザイン学科（製品デザイン、家具・インテリアデザイン）

建築・環境デザイン学科（建築デザイン、ランドスケープデザイン、リノベーション、サステイナブルデザイン、エコロジカルデザイン）

グラフィックデザイン学科

映像学科

企画構想学科

コミュニティデザイン学科

大学院

芸術工学研究科

芸術工学専攻（博士後期課程）

芸術文化専攻（修士課程）

デザイン工学専攻（修士課程）

デザイン工学専攻 仙台スクール（修士課程）